

## 成熟した信仰

聖書にあるように、ヤコブが一人の相対のラケルを迎えるために7年間尽くしました。祝福とはそのようなものです。7年間ではありますが、7日間が過ぎたように感じたことがあります。それは何を意味したかと言えば、ヤコブがラケルをそれほど愛しているという事を表しています。そのような愛、純潔が祝福なのです。天の父母様、真のご父母様にこのような恋をすることが、我々統一教会の信仰になるのです。

しかし7年間の尽くしましたが、与えられた相対はレアでありました。本当に愛しているのならば、あと7年間ラケルを迎えるために尽くさなければならなくなりました。みなさんは、14年間無償で、相対を迎えるために尽くす事が出来るでしょうか？ヤコブは決意したのです。

また、ヨセフは自分の人生は何なのかと考えます。お兄さんによって売られていった人生、牢屋の生活、捨てられた人生だったのか？自分の人生を恨むようになるのです。神は本当にいるのかと恨むのです。しかし、既にお母さんが恨みと葛藤を溶かしていたので、ヨセフはその恨みがありませんでした。もし悲観していたら人生は終わっていました。信仰者が自分の信じていたものを捨ててしまったら、それほどみじめなかわいそうなものはないのです。人は公的な思いになったならば、私的な悩みというものはなくなるのです。ヨセフも自分の悩みよりも他人の悩みを考えたので、その中心になったのです。

4大心情圏は何がありますか。子女の愛、子女の心情圏、兄弟の愛、兄弟の心情圏、父母の愛、父母の心情圏、夫婦の愛、夫婦の心情圏があります。人が成長する段階を表すものです。子供の心情圏には責任というものがありません。愛を受ける立場です。兄弟の愛は分かち合うのです。分かち合う愛の完成が夫婦になるのです。お互いに責任を持たなければなりません。そして父母は与える愛、責任のある愛、犠牲になっても未来に尽くす愛になります。人類の真の父母は、全てにおいて責任を持たれるのです。それが真の父母様の道であったのです。

良いものも悪いものも全て責任を持つところに成熟した信仰があるのです。未熟な信仰には責任がないのです。未熟な者には神様も責任を与えないのです。責任があるという事は、神が信じているという事です。それを自分のものにするところに天の役事があります。そのような成熟した皆様になることを祈願いたします。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします  
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、真の父母様聖和一周年記念 100 日精誠祈禱会  
期間：陽5.16～陽8.23 朝の9:30の出発式と17:00に祈禱会  
(毎週金曜日と日曜日は17:00祈禱会は行いません)  
場所：浦和教会
- 3、2013年伝道勝利のための「第3次50日路程」  
路程期間：2013年7月2日(火)～8月20日(火)(50日間)  
①「祝福式」の開催②「2日修練会」の開催 ③「礼拝」の活性化  
④「十一條献金」の推進⑤「聖和1周年追慕礼拝」への新規動員
- 4、天一国經典天聖經、平和経日本語出版記念式  
日時：8月24日午前 8:00～11:00 頃まで  
場所：天正宮博物館2F
- 5、天一国フェスティバル大会準備委員会  
①日時：8月9日(金) 15:00～  
②日時：8月16日(金) 15:00～  
参加対象：牧会者、関係スタッフ
- 6、七・一節、七・八節記念礼拝  
日時：8月7日(水) 10:30～  
場所：浦和教会礼拝堂
- 7、伝道三日路程  
期間：8月6日(火)～8日(木)
- 8、第4回家系図講演会  
日時：8月9日(金) 10:30～  
場所：浦和サロン
- 9、夏休み特別企画!!親子サマーセミナー (通い2day)  
日時：8月10日(土)～11日(日) AM10:00～18:00 予定  
講師：田川 敏部長  
会場：岩槻東ロコミュニティセンター多目的ルームC  
会費：大人3,000円 高校生以下2,000円  
参加：親子(父母、中学生以上)
- 10、東埼玉教区壮年合唱練習  
日時：8月11日(日) 15:00～  
場所：浦和教会礼拝堂
- 11、次回の『天一国フェスティバル』のご案内  
日時：8月18日(日) 13:30開演  
場所：埼玉会館大ホール

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代 天 基 元 年 元 月 元 日

天地人真の父母勝利解放完成時代



## 浦和教会

Holy Spirit Association For Unification  
of World Christianity Urawa Church  
世界基督教統一神霊協会

教区長：李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12  
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797  
E-mail : uc.urawa@gmail.com

## 式次第



執礼者：田川 敏教育部長  
司会者：赤岩弘一伝道部長

開 会	.....	司会者
黙 禱	.....	全 体
※開会讃頌	..... 天一国の歌	全 体
※敬 拝	.....	全 体
※家庭盟誓	.....	全 体
代表祈禱	.....	奥平昌広
讃 頌	.....	聖歌隊
み言訓読	.....	全 体
説 教	パウロの回心	
※讃 頌	..... 聖歌 19番	全 体
※祝 禱	.....	執礼者
※全体祈禱	.....	全 体
教会音信	.....	司会者
閉 会	.....	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進みます

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

## 今週のみ言

さてサウロは、なおも主の弟子たちに対する脅迫、殺害の息をはずませながら、大祭司のところに行って、ダマスコの諸会堂あての添書を求めた。それは、この道の者を見つけ次第、男女の別なく縛りあげて、エルサレムにひっぱって来るためであった。ところが、道を急いでダマスコの近くにきたとき、突然、天から光がさして、彼をめぐり照した。彼は地に倒れたが、その時「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか」と呼びかける声を聞いた。そこで彼は「主よ、あなたは、どなたですか」と尋ねた。すると答があった、「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。さあ立って、町にはいって行きなさい。そうすれば、そこであなたのなすべき事が告げられるであろう」。サウロの同行者たちは物も言えずに立っていて、声だけは聞えたが、だれも見えなかった。サウロは地から起き上がって目を開いてみたが、何も見えなかった。そこで人々は、彼の手を引いてダマスコへ連れて行った。彼は三日間、目が見えず、また食べることも飲むこともしなかった。さて、ダマスコにアナニヤというひとりの弟子がいた。この人に主が幻の中に現れて、「アナニヤよ」とお呼びになった。彼は「主よ、わたしでございませう」と答えた。そこで主が彼に言われた、「立って、『真すぐ』という名の路地に行き、ユダの家でサウロというタルソ人(びと)を尋ねなさい。彼はいま祈っている。彼はアナニヤという人がはいってきて、手を自分の上において再び見えるようにしてくれるのを、幻で見たのである」。アナニヤは答えた、「主よ、あの人エルサレムで、どんなにひどい事をあなたの聖徒たちにしたかについては、多くの人たちから聞いています。そして彼はここでも、御名(みな)をとなえる者たちをみな捕縛する権を、祭司長たちから得てきているのです」。しかし、主は仰せになった、「さあ、行きなさい。あの方は、異邦人たち、王たち、またイスラエルの子らにも、わたしの名を伝える器として、わたしが選んだ者である。

使徒行伝第九章1節～15節

## 統一運動

### 「天一国青年宣教師特別40日修練会」を開催

天暦6月17日(陽暦7月25日)に韓国・清平にある天宙清平修練苑で「天一国青年宣教師特別40日修練会」の開講式が行われ、日本全国から約160名の青年が集まりました。

今回の修練会は、統一教会の二世・青年を宣教師となれるように教育、訓練し、今後、世界各国の宣教を支援する目的で開催。開講式には、徳野英治・日本統一教会会長、全国祝福家庭総連合会の宋龍天総会長夫妻をはじめ、大母様が出席し、宣教師を志すメンバーたちに力強いメッセージを語りました。

徳野会長は、「皆さん自身の成長が第一番目。二番目は、その国の宣教活動に貢献することです」と、この修練会の二大目的を強調しました。

修練会は9月3日まで行われ、参加者は40日間を通して様々な教育を受けることになります。



天一国青年宣教師特別40日修練会  
主催：日本統一教会 会場：天宙清平修練苑 開催：天一国元年 天暦6月17日～7月28日 天暦6月20～21日